

令和6年度 国際関係学部 高大連携出張講義 講義テーマ（国際言語文化学科）

教員名	講義テーマ	依頼に際しての注意事項
栗田 和典	食から考えるイギリス史	食べ物そのものはご用意できません。交通費等ご無用に願います。あらかじめ講義の動画を視聴していただき、当日にはグループワークをおこなって理解を深める授業形式です。
須田 孝司	英語習得のなぞ	日本語は自然に使えるようになったのに、英語となるとなかなか上達しません。それはなぜでしょう。英語習得の困難さについて考えます。講義にはパワーポイントを使います。水曜日を希望します。
ジョナサン・デ イ ハー ン (Jonathan deHaan)	Using games to improve language, literacy and thinking skills	Students will work (in English) in groups to play, discuss, and redesign a simple board or card game. In these activities, students will practice and learn English vocabulary, reading, writing, speaking and listening skills. Students will learn about the social and historical context of the game, as well as practice critical thinking and creativity skills. A short debriefing and lecture at the end of the class will help students apply the lessons from the game into daily life. (Technology required: projector and screen. Games and other materials will be brought to the lesson.)
	Can "Fun" Change the World?	Many people think of "fun" as the opposite of "work" or "learning." In this lecture, I will show some amazing examples of "fun" making the world a better place. We will discuss types of fun and types of people. We will think about problems in the world around us (e.g., related to SDGs), and how we could solve these problems by making the world more "fun." Students will use various communication skills (language, design) and thinking skills (critical thinking, creativity, collaboration) in thinking about themselves and others around them. I'll help you turn your ideas into action.
	Use your favorite game to change the world	Games, just like movies and books, are an important part of people's lives. People play おまごと、しりとり、鬼ごっこ、かるた、人生ゲーム、sports, board games, smart phone games, and video games. In Japan, America, and other countries, passionate people are using popular games to make the world a better place for everyone. In this talk, you will observe and discuss some amazing uses of games to change society. You will then think about your favorite game, brainstorm ways to use the game to solve a specific social problem, then share your ideas with the class. Will you put your ideas into action? I'll help! (Technology required: projector and screen. Games and other materials will be brought to the lesson.)
寺尾 康	ことばへの気づきと日本語・英語	「ことばを知っていること」と「ことばについて知っていること」は違います。日本語と英語の歌やCM、構文などを題材に、普段何気なく使っていることばの背後にある仕組みやよきなりに気づく、という作業を通して、「ことばについて知る」楽しさを感じてもらえたらと思います。
リダン ポール アラン (Paul Alan Lyddon)	What It Means to Know English and Why It Matters	This lesson will cover three main themes: 1) historical factors in the global spread of English, 2) characteristic differences between major varieties of English, and 3) implications for learning and using English for global communication. (Required technology: projector and screen.)
澤田 敬人	オーストラリアへ渡った日本人	多文化社会におけるジャパニーズを知り、人の国際移動という視点を紹介します。パワーポイントを使用します。
米山 優子	現代イギリス社会の諸相	ニュース映像を通して、現代のイギリスでどのような社会問題が起こり、それに対して人々がどのような反応を示しているのか考察します。DVDプレーヤー、パソコン、プロジェクターを使用します。
長野 明子	世界の言語とその言語文化	言語多様性は生物多様性と同様に私たちを魅了してやみません。大多数の人が日本の高校で学ぶ外国語は英語ですが、世界には日本語、英語以外にもたくさんの言語や方言があります。この講義では静岡県立大学国際関係学部で学べる英語以外の外国語とそれを取りまく言語文化について紹介します。パソコンとプロジェクタを使用します。遠隔講義対応可能。
	映画『My Fair Lady』の言語学的見どころ	名優オードリー・ヘプバーンがロンドンの下町娘を演じるミュージカル映画『My Fair Lady』を取り上げ、言語学の観点からの見どころをお話します。音声学のはじまり、方言ステレオタイプ（○○のようなことばを話す人は△△だ式判断のこと）、社会階層とことばの関係、など重要なトピックがたくさんつまった映画なのです。パソコンとプロジェクタを使用します。映画視聴の際は、英語音声に日本語字幕をつける形で提示します。

田村 敏広	英文法の背後にあるもの	仮定法や完了形などの文法形式がなぜそのような形式をしているのかを、人間の物事の捉え方・人間の認知という観点から考えます。講義ではパワーポイントを使用します。
	言語コミュニケーションの仕組み	日常の言語コミュニケーションにおいて、私たちは文字通りの意味だけではなく、「見えない意味」もやりとりしています。講義では、「見えない意味」とはどのようなものなのか、また、なぜそのような意味のやりとりが可能になるのかを考えます。これらの問いを考えることで、言語コミュニケーションの背後にある人間の認知能力が見えてきます。講義ではパワーポイントを使用します。
鈴木さやか	芭蕉さんのあたらしさ	芭蕉さんの有名な「あの一句」について、どの点が従来の俳諧と異なっていたのかをお話しします。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加していただく生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前後期講義中は火・木曜は出講できません。
	絵本で親しむ能「羽衣」	日本が世界に誇る古典芸能「能」。今回は、静岡・三保の松原が舞台となっている能「羽衣」および講師が行っている羽衣普及活動について、県大で作成した絵本を用いてご紹介します。講義中、グループでの話し合いや指名による発言などを行っていただきますので、積極的に参加していただく生徒さんが望ましいです。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いいたします。なお、前後期講義中は火・木曜は出講できません
細川 光洋	小泉八雲一文学としての怪異	焼津ゆかりの文学者小泉八雲(Lafcadio Hearn)の作品をもとに、文学的想像力と「怪異」についてお話しします。作品としては、「焼津にて」「雪おんな」などを取り上げます。講義ではパワーポイントを使用しますが、レジュメで八雲の原文(英文)の一部を配布。これをもとにオリジナルな訳文づくりにも挑戦していただく予定です。八雲の『怪談』が、昔話ではなくなぜ近代文学なのか、講義を通して考えていただけたらと思います。水曜日(前期)、木曜日(後期)の午後に希望します。
竹部 歩美	源氏物語の世界に触れる	国宝『源氏物語絵巻』の絵と詞書を見ながら、1000年前の日本語と日本文学を考えます。絵の見方を説明した後、それに対応する詞書(くずし字のもの)を見ながら語彙や語法の解説を行います。水曜か木曜の出講を希望します。
澤崎 宏一	日本語学入門	大学で学ぶ日本語学という分野の中から、いくつかトピックを選んで、そのさわりを紹介します。ことばに興味のある方対象です。(火曜・水曜は困難。)
	アメリカの日本語教育のひろがり	アメリカではどのような人たちが日本語を大学や高校で学ぶのかについて、その歴史や現在の事情を考えながら話をします。(火曜・水曜は困難。)
平山 洋	現在進行中の研究紹介 福沢諭吉の全集非収録社説を探索する	・岩波書店刊『福沢論全集』の「時事新報論集」は、編纂者である石河幹明による意図的な選別のため福沢執筆社説を正しく抽出していない。福沢は日清戦争前に軍備拡大を唱えたことも、戦後に日英同盟の必要性を主張したこともない。また植民地は不要であり、朝鮮に対しては独立を支援するべきとしていた。本講義はその詳細を解説する。
吉田 真樹	日本における神と仏	前もって生徒が何を知りたいのか調査・報告していただき、それに応える形で授業を行います。月曜日を希望します。
木澤 景	「かながえる」を考える 一日本人の思考法	古典テキスト(主に古文)を読みながら、かつての日本人がどのようにものを考えたのかを探り、そもそも「かながえる」とはどういう営みなのかということに参加者それぞれが考えてみます。金曜日を希望します。
奥菌 秀樹	朝鮮半島の南と北―「分断国家」韓国と北朝鮮	韓国、北朝鮮の政治外交、安全保障と日本との関係についてお話しします。マグネットが使用可能なホワイトボードか黒板をお願いします。原則として、火曜、水曜は出講できません。日程についてはご相談下さい。
小針 進	日本と韓国～「眺め合い」の社会学	原則として月曜、火曜、金曜は出講できない(その他にも出講できない特定日があるので要相談)。パワーポイントを使用するためプロジェクターとスクリーンの準備ができること、熱心に聴いてくださる生徒さんがいればどこへも伺います。

塩崎 悠輝	越境するロヒンギヤ難民	現在、世界では難民が増え続けています。アジアでも増え続けており、日本に近い国だと、特に東南アジアのミャンマーから数百万人の難民が出国しています。その中でも、ロヒンギヤと呼ばれる人々が、バングラデシュやマレーシアなど、いくつもの国に逃れています。難民はなぜ発生するのか、難民はどのように生きていくのか、難民が来た国の人々はどのように対応するのか、検討していきます（木曜日と金曜日のみ可能）。
堀内 賢志	ロシアの政治・社会と日露関係	ロシアの政治・社会の特殊性やウクライナ侵攻が起こった背景などを解説し、隣国同士でもある日露関係のあり方について考えます。授業期間中は水曜の午前中もしくは木曜を希望します。パワーポイントを使用するため、プロジェクターとスクリーンの準備をお願いします。
奈倉 京子	〈共生の文化〉はどのように形成されるのか？ —アジアにおけるインクルーシブ社会をめぐる—	日本をはじめとするアジア諸国では、インクルーシブな社会／教育が謳われています。しかし現状では、社会的に弱い立場にある人々を「分離」する教育や就労が進んでいます。本講義では、日本、中国、台湾におけるインクルーシブな社会／教育に着目し、障害のある人々を支援する民間組織を紹介しながら、草の根のレベルでわたしたち一人ひとりがどのように行動することで〈共生の文化〉を形成することができるのかを考えます。（*月曜日と金曜日のみ可能。特に沼津市の高校歓迎。）
米野 みちよ	マイノリティの声を届けるユーチューバーたち	「マイノリティ」とは、社会の中で、国籍、宗教、ジェンダー、など様々な要因で、政治的、経済的、文化的に、不利な立場にある集団です。本講義では、マイノリティの声を届けるユーチューバーたちを紹介します。様々なマイノリティの声に耳を傾け、また、新しいメディアの役割について考えてみましょう。（パワーポイントを使用するためプロジェクターとスクリーンの準備ができること。できればスピーカーもあると有難い。小型のものであれば、当方でも持参可能）
小谷 民菜	二つの『オランダ人』とアハスヴェール	ワーグナー（ヴァーグナー）のオペラとその原作、さらにその背後にあるヨーロッパ中世以来の伝説について見ていきます。パワーポイント使用。
橋川 裕之	民主主義を古代から考える	現代世界に広まっている政治制度は民主主義（デモクラシー）と呼ばれます。よく知られているように、民主主義は古代ギリシャで誕生したものです。ギリシャの民主主義はどのように始まり、どのように終わったのか、現代の民主主義とどんな点で異なるのかを解説します。50～60分程度。DVD・スクリーンも使用します。対面方式。大学授業期間中は水曜と金曜が第一希望です。
	イタリア・ルネサンス—フィレンツェで何が起こったのか？	世界的にも名高い「ルネサンス」は14世紀から15世紀にかけて、イタリアの都市フィレンツェで始まったとされます。なぜこの時期のフィレンツェで？そもそもルネサンスとは？ヴィジュアル資料を用いて解説します。50～60分程度。PC・スクリーンも使用します。対面方式。大学授業期間中は水曜と金曜が第一希望です。
園田明人	高校生のための心理学入門：心理学の基礎と、無気力・落ちこみ・適応の心理	パソコンの画面をスクリーンに出力しますので、プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。
橋本勝	学力格差は、“絆”の格差？社会的なつながりの中で「学力」を考える。	パワーポイントを使用して授業を進めますので、プロジェクターをご用意ください。 概要：「学力」を児童や生徒のきわめて「個人的な事柄」と考えることを一旦停止し、「社会的な事柄」と捉えてみましょう。そして、学力の格差や教育の格差などの社会問題や、その対策について考えてみましょう。
剣持 久木	歴史博物館で学ぶ現代史	戦後75年が過ぎ戦争体験者がいなくなる中で、歴史を伝える手段として注目されるのが、歴史/戦争博物館です。世界各地の博物館の様子を紹介して、現代史をどう伝えていけばいいのかを考えます。パワーポイントでの講義です。
森 直香	文学とアダプテーション	人気のある小説やマンガの映像化、楽曲のカバーバージョン、テーマパークのアトラクションなど、アダプテーションは私たちの身近にある現象です。出張講義では、この現象を学術的な視点からとらえ、アダプテーションとは何か、そして、ある作品がアダプテーションされるときのどんなことが起こるのかを身近な例を取り上げて分析し、文学が作り出すつながりについて考察します。DVD、パワーポイント、インターネット使用。授業期間は月曜・火曜日に出講できません。
ファイファー、M. (Matthias Pfeifer)	映画にみられるドイツ分断と再統一	パソコンの画面と音声を出力して使用しますので、プロジェクター（HDMIインタフェース）、スクリーン、スピーカーの準備をお願いします。後期のみで木曜日の午前中または第一・第五次曜日の午後（後期）を希望します。
西村晶絵	芸術と政治は切り離されるべきか？—フランス文学	日本では、アーティストが政治的な発言をするとき、たびたびSNSが「炎上」します。ですが、芸術と政治は本当に切り離されたものなのでしょうか？ フランス文学（例えば『星の王子さま』など）を例に、芸術作品や芸術家と政治との関係を考察し、日本における現状についても問い直してみましょう。講義ではパワーポイントを使用します。